

Contents

- 02 | **特集** 第25回通常総代会開催
- 05 | JA新役員紹介
- 06 | あきた白神トピックス
- 10 | 営農情報 ~ 稲作・畑作 ~
- 12 | ATMご利用便利ガイド
- 14 | JA共済代理店紹介・JA職員紹介・出品者紹介
- 15 | おたより・クロスワード
- 16 | 能代科学技術高校レポート
~ 全県から農業高校生が集合 ~
- 17 | JAあきた白神からのお知らせ
- 20 | エーコープ商品で簡単クッキング

特集

第25回通常総代会

組合員と共に「地域の活性化」目指す!

提出議案

- 報告事項1 「JAバンク基本方針」の変更について
- 報告事項2 第25年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人報告及び監事の監査報告について
- 議案第1号 第25年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 議案第2号 令和5年度理事及び監事の報酬決定について
- 議案第3号 退任理事及び退任監事に対する退職慰労金支給について
- 議案第4号 役員を選任について

新組合長に工藤巖氏就任

当JAは6月27日、第25回通常総代会を能代市文化会館で開催し、令和4年度事業報告および剰余金処分案並びに任期満了に伴う役員を選任など、全4議案と付帯決議が可決・承認されました。4年度は主力品目の「白神ねぎ」が過去2番目の販売実績となったこともあり、当期剰余金は1億6,187万円を計上。当期の未処分剰余金は3億2,797万円の決算となりました。

開会に際し、佐藤組合長は「持続可能な農業の実現」、「安心して暮らせる豊かな地域社会の実現」、「目指す姿を実現する強いJAづくり」を基本方針とし、「組合員に向き合うJA事業・経営をめざして自己改革に取り組んでまいります」とあいさつ。

総代会には総代500人のうち454人（書面議決・委任状を含む）が出席し、議長にはのしろ北地区の総代・須合勝治さんが選任され、全議案が審議・承認されました。

任期満了に伴う役員改選では理事13人と監事4人を選び、総代会後の理事会で工藤巖理事が、代表理事組合長に就任しました。

就任のご挨拶



代表理事組合長
工藤 巖

り巻く環境は厳しさが増しております。また、我が国の農業は生産者の減少や高齢化、耕地面積の減少など生産基盤の縮小が続くなか、生産資材の高騰により農業経営は厳しさを増しております。

このような情勢の中、JAは持続可能な農業の実現を目指し多様な農業者の確保、支援に取り組んでまいります。また、地域農業振興については、「農業者の所得の増大」と「農業生産の拡大」の伸長を目指し複合経営を推進し、組合員や地域住民どうしが接点をもつきっかけを作り、地域コミュニティの創造に取組み、「地域の活性化」を目指してまいります。

また、私自身、JA職員として26年間在籍し、その後、専業農家として現在に至っております。今、地域に居て感じることは、野良で農作業をしても周には人影は無く、以前のような賑わいはありません。以前を惜しむよりは、寂しさの方が大きく感じられます。

それでも春の田植え、秋の稲刈りには野良に賑わいが戻りますが、

一時で終わってしまいます。一方、一年の大半賑わっているところもあります。それは、「白神ねぎ」をはじめ「白神山うど」、「白神みょうが」、「白神きゃべつ」など、白神ブランドの野菜の出荷時には、営農センターは嬉々とした農家の皆さんでごった返し、大賑わいとなります。農家にとって、収穫が一番の楽しみであり喜びでもあります。

「この賑わいをいつまでも継続できたら」との思いから、稲作をしっかりと下差さえしながら複合経営の推進を強化し、「農業所得の向上」を目指すべく、山積する課題に取り組んでまいります。

課題の先には組合員が居ることを胸に刻みながら、これまでも、そして、これからも組合員の皆様と共に邁進してまいります。

盛夏の候、組合員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、6月27日の第25回通常総代会において理事に選任され同日付で代表理事組合長に就任することになりました。自身の分も弁えず、組合長の職責を担うことになり責任の重大さを痛感しております。今、我が国経済はコロナの規制緩和により緩やかな持ち直しが続いております。

その一方で、エネルギーや食糧価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等により、我が国経済を取



役員改選で投票を行う総代



4年度事業報告などを承認した通常総代会